

体育科指導略案

指導者名 ○○ ○○

- 1 対象 第5学年1組 18名
- 2 日時 令和6年6月26日 水曜日 第5校時 (13:40~14:25)
- 3 場所 5年1組教室
- 4 単元名 体づくり運動「噛む力で運動能力向上！」
- 5 単元の目標

- (1) 噛む力を向上させることで、運動能力の向上につながることを理解する。
- (2) 自身の身体のために意欲的に咀嚼する意識を高めることができる。

6 単元指導計画 (全5時間)

【単元のゴール】

噛む力と、運動能力の関係性について考え、運動能力を向上するために噛む力を鍛える実践意欲を高め  
ている。

- 第1時 噛む力と運動能力が関わっているのかを調べる。
- 第2時 噛む力と運動能力の関係について実験をする。
- 第3時 自分たちの噛む力を調べ、課題を設定する。(本時)
- 第4時 どうすれば噛む力を向上できるのかを考え実践意欲を高める。
- 第5時 正しく噛むことによって身体にどのような影響があるのかを知る。

7 本時の目標

噛む力を調べ、その結果から運動能力を向上するための課題を設定することができる。

8 本時の展開 (3/5)

過程	学習活動	学習形態	指導上の留意点	評価規準 【評価の観点】 〈評価方法〉
導入 5分	○これまでの学習を振り返る。	一斉	○噛む力が運動能力向上に関わっているという事を確認し、現状の噛む力について考える	◇調べた結果から、課題に気づき、噛む力を向上させるためには何ができそうか考えている。 【思考・判断・表現】 〈発言、ワークシート〉
	自分の噛む力を知り、その結果から課題を設定しよう。			
展開 35分	○実際に噛む力を調べる。  ○現状の噛む力を知る。  ○結果から課題を設定する。	一斉  一斉  一斉	○噛む力を計測しているという事を言う と意識してしまうので、現状が分かるように何も言わずにガムをわたす。  ○噛む力によってガムの色が変わることを伝え、どの程度しっかり噛めばよいのかを体験する。  ○噛む力および運動能力を向上させるという目的を明確にしておく。  ○それぞれで課題を設定し、交流する中で学級での課題を設定する。	十分満足できると判断される状況  ○具体的に課題を設定することができている。  努力を要する状況への手立て  ○調べた結果からどのようなことに視点を向ければよいかを考えさせる。
	(課) 噛む力を向上させるためにはどうすればよいだろうか。			
まとめ 5分	○学習の振り返りをする。	個別	○どのようにすれば改善できるかを考えさせる。	